

東京都議会議員

尾崎 大介



●尾崎大介プロフィール● 昭和49年生まれ。日本大学農獣医学部卒。衆議院公設第一秘書を経て、平成17年に北多摩第三選挙区(調布市・狛江市)より都議選に初当選。財政委員会副委員長、都議会民主党総務会副会長、都市整備委員会委員長、環境・建設委員会理事、警察・消防委員会副委員長、都議会民主党政調会長・幹事長などを歴任。現在3期目

都議会民主党 幹事長就任

この度、会派の幹事長に就任致しました。15名のリーダーとしての重責を果たし、これまで以上に皆様の声を都政に反映すべくより一層、真摯に邁進してまいります。

東京都議会 第3回定例会 代表質問

調布市内飛行機事故の検証と対策を!

○尾崎大介都議 調布飛行場周辺飛行機墜落事故は戦後、民間機の墜落により住民の犠牲者が出た初めての重大事故であります。都は、空港使用の届け出について厳しく調査を行う必要があります。今後、自家用飛行機は運航の停止も視野に入れるべきとも考えます。

都においては、地域住民からの声を最大限受けとめて、今後の対策に生かすとともに、運輸安全委員会や警視庁とも協力して丁寧な説明会を行い、地域住民の不安解消に努めるべきと考えますが、見解を伺います。

○舛添要一都知事 今回の墜落事故の発生後、改めて調布飛行場における管理運営の状況全般について検証に着手しております。

一方、国土交通省及び警察が、現在、事故原因を調査しているところでありまして、今後、調査結果等を踏まえ、再びこのような事故が起こらないよう、調布飛行場の安全対策を強化してまいります。

東京五輪の透明性確保と情報公開を

○尾崎大介都議 新国立競技場の整備計画が当初予算の2倍を超えるコストとなって白紙となり、また、大会エンブレムも盗用疑惑や無断使用などの批判を受け、撤回に追い込まれました。これらの



一連の問題が2020年大会の機運醸成に水を差したことは極めて残念であると考えております。

2020年大会の成功に向け、新国立競技場整備を初めとした開催計画の実施に当たって、都は、意思形成過程の透明性を確保し、情報を広く公開するとともに、国や組織委員会に対しても、これら対応を促すべきと考えますが、知事の見解を伺います。

○舛添要一都知事 積極的に情報公開を行うことにより広く情報を共有することが肝要であります。進捗状況について、私から節目節目に公表し、情報共有をしっかりと図っていくことといたしました。

輸送やボランティアなどその他の取り組みにおきましても都議会に適宜ご説明し、ご審議いただくとともに、進捗状況を都民に明らかにし、広く理解を得ながら事業を推進してまいります。

【一部抜粋】

子どもの貧困連鎖解消へ 実態調査と対策強化を



子どもの貧困が社会問題化するなか、都内自治体でも担当部署の設置や実態調査など、対策が始まっています。

尾崎都議は、都においても、子どもの貧困調査を実施し、各自治体とともに、貧困対策を強化することを求めました。

知事は、都が養育世帯の生活実態や子育て状況などを明らかにするため、5年ごとの実態調査を行っている。今後とも、区市町村と連携しながら、子供と家庭の生活実態を把握し、更なる施策の充実に努める、と答弁しました。

高齢化社会対策 相談体制の拡充を求める!

重度化を防ぎ地域で人生が終えられる地域包括ケア体制の整備を進める上で、相談体制は重要です。

そこで、尾崎都議は、高齢者が身近な地域で気軽に相談できる体制の整備をより一層進めるべき、と主張しました。

都は、地域包括支援センターが必要なサービスにつなぐことができるよう研修、地域の社会資源とのネットワークの構築等を行う専門職配置の支援、相談窓口を設置する区市町村を都独自に支援しており、今後とも区市町村での相談体制整備を進める、と答えました。

水害は他人事ではない! 危機意識向上に全力を!

台風18号による大雨で、都内でも避難勧告が出されました。しかし、避難所に都民の姿はほとんどなく、日頃の危機意識向上に改めて課題を示しました。

そこで尾崎都議は、「東京防災」の各地域での活用や都の総合防災訓練での都民の防災意識を高める取組みを求めました。

知事は、度重なる自然災害の発生で、災害への備えの重要性を改めて痛感。イベントの機会を捉えた活用、防災教育の充実や消防署等でのセミナーなど、都を挙げて取り組み、幅広い世代への防災意識を喚起する、と答弁しました。

戦没者追悼式出席

去る8月15日に文京区で行われた戦没者追悼式に会派を代表して出席してきました。

都民の皆様の恒久の平和を願うとともに今後、過去の過ちを二度と起こさないように追悼してきました。



都政に関するご意見・ご要望をお寄せください。



連絡先

尾崎大介事務所

〒182-0024 東京都調布市布田2-30-4
TEL:042-498-8030 FAX:042-498-8030

<http://www.ozakidaisuke.com>

